

「自ら学び高め合う児童の育成」

～ 自分の考えをわかりやすく伝える子どもを目指して～

I 主題設定の理由

言語による活動は、論理的思考などの知的活動やコミュニケーションの基盤であり、これを活用できるようにしていくために、各教科等を貫いての授業の工夫や充実を図っていくことが重要である。本校の学校経営の重点に「自立した個と意欲的な学習集団をつくり、わかる授業を行う」があり、学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力を育み、読書活動の充実や教育活動全体を通じて、自立する児童の育成に努めることを具体策として挙げている。自分の考えを自分の言葉で話し、伝え合い、自分の考えを深め、「分かった」「できた」「一緒に学んで良かった」と思う授業を積み重ねていくことにより、目標が達成できると考える。

II 研究の内容

1 研究の内容と具体的方法

(1) 研究の内容

- ・総合的な学習の時間について
- ・英語科の評価について
- ・学力分析情報共有
- ・聞くことについて
- ・授業実践（一人一実践）とそのふりかえり
- ・教育課程学習会環流報告
- ・全体研究の授業案検討
- ・授業研究
- ・研究のまとめ
- ・研究紀要作成

(2) 研究の具体的方法

- ・全体研究会で、討議や企画を行い、研究を推進していく。
- ・必要に応じて、実態調査を実施し、結果を分析・考察する。
- ・研究授業や授業公開の機会を設け情報交換を行い研究を深める。

2 具体的実践

(1) 授業実践

ア 授業研究

第6学年	家庭科「くふうしよう楽しい食事」	授業者 阿部かおり教諭
目標	・日常の食事の大切さに気づき、楽しく食事をしようとする。 ・栄養バランスを考え、1食分の献立を立てることができる。 ・身近な食品を用いて調理計画を立てて、簡単なおかずをつくること ができる。	

山梨県教育委員会 義務教育課 主幹・指導主事 清水 弘美先生

イ 授業公開

学年	教科	単元・題材名	授業者
第1学年	算数	「かたちあそび」	本宮知子教諭
第2学年	算数	「水のかさをはかろう」	小川真知子教諭
第3学年	国語	「漢字の意味」	戸嶋佐也加教諭
第4学年	国語	「慣用句」	武井 茂教諭
第5・6学年	音楽	「いろいろなひびきを味わおう」	竹川美和教諭
第6学年	特別活動	「2学期をふりかえる」	阿部伸之介教諭

(2) 総合的な学習の時間・生活科の実践についての学習会

講師：上智大学 総合人間科学部 准教授 澤田稔先生

(3) 聞くことについて・発言のルールと指導についての学習会

・聞くことについて 提案者：阿部かおり教諭

・発言のルールと指導について 提案者：武井茂教諭 小川真知子教諭

(4) 学力分析情報共有

第3学年，第5学年の山梨県学力把握調査と，第6学年の全国学力学習状況調査において，結果分析を行い，児童の実態把握と今後どのような支援が必要かを討議した。

III 成果と課題

1 成果

- ・ペアやグループ活動など学習形態を工夫したことで，自分の考えをまとめて話すことに慣れ，発言回数や意欲が増した。
- ・日々の学習の振り返りを文章で書く「まきにつき」の取り組みを行い，授業で学習したこと，問題解決する際に工夫したこと等，文章で表せるようになってきた。
- ・期待する児童の姿を記述し，目指す児童像が明確になり，どのように支援していくか個別に考えることができた。
- ・学力状況調査分析を行い，児童の実態を知るとともに，本校の児童の課題となる部分を全職員で話し合ったことにより，共通理解を図ることができた。
- ・一人一実践を全職員で参観したことで，授業者・参観者ともに授業力が向上した。

2 課題

- ①少人数の中で，伝え合い考えを深めることには課題が残る。
- ②児童は，自発的に自分の考えを発表したり，話し合いを行うことはできてきたが，友だちの考えもしっかりと聞くことで，自分と友だちの考えの違いから学び合ったり，話し合いを深めたりする力をつけていきたい。

III 成果物

- ・授業研究・授業実践の授業案(ワークシート等も含む)

(研究主任 竹川 美和)